

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 002	提案機関名 神奈川県 農業振興課
要望問題名 茶園における鶏ふん堆肥等を活用した低コスト施肥体系について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 県内の茶価の低迷により、茶業経営状況は厳しく、近年の資材や肥料の高騰により、さらなるコスト低減が必要となっている。 先般、鹿児島県より採卵鶏ふん堆肥と硫酸を活用した施肥体系により、石灰質肥料と同等の土壤改良効果が得られ、肥料費を約6割に軽減できたとの成果の発表があった。県内の茶園の施肥においても、鶏ふん堆肥等の施用による茶樹や収量・品質への影響及び肥料費の軽減効果について研究願いたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	北相地区事務所
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 茶の高品質・安定生産技術の開発		
対応の内容等	鶏ふん堆肥等を活用し、石灰質肥料や化成肥料を削減することによる、低コスト化を目指した施肥体系による収量・品質への影響について、上記試験研究課題の中で実施します。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			